

東京都

東京大学 ～「農業×地域おこしでむらの未来を変える」東大むら塾～

● 東大むら塾の発足

- ・「大学生サークルと農業集落のマッチング」を手掛ける日本グラウンドワーク協会の協力のもと、学生と千葉県富津市の農業者が繋がり、2015年に発足した。
- ・「農業×地域おこしでむらの未来を変える」を目標に掲げ、地域と関わる様々な活動を展開している。

● 3つの活動地域

- ・千葉県富津市：当初から活動している地域で、農業や教育支援などを通じて、人々とつながっている。
- ・福島県飯舘村：2019年から活動を開始しており、広報紙の作成や、花壇整備、養蜂などを行っている。
- ・北海道栗山町：年2回の合宿を通じて、大規模な農業や自然に触れながら交流する拠点となっている。

● むら塾10周年：歴代メンバーによる持続可能な運営

- ・作物栽培から商品開発、イベントまで、すべて学生が自ら企画・実行し、引継書等で後輩に確実に継承。
- ・3つの活動地域に人的資源を集中し、継続的に関わることで、商品開発などの活動を充実・発展。

「むら塾生、田んぼに立つ」
直接の体験から学びを深める



「やりたいこと」に全力な
むら塾生のチャレンジ精神



- ・民間企業や地方自治体、農業者、他大学と連携しながら、地域に根ざした実践的な学びを追求。
- ・子どもたちへの学習支援や地域行事への参加を通じて、教育・交流を重視し、地域とのつながりを深化。
- ・文系・理系を問わず約**140**名が所属し、各々の専門性と多様な視点を活かした運営による活動の広がり。
- ・サークル入会金、クラウドファンディング、農産物の販売、民間支援資金を組み合わせた柔軟な資金調達。

● 活動の成果－地域に活力、学生に視野と使命感－

- ・地域と学生で生み出したブランド米「てとて」は、東大むら塾が地域に深く根付き、実を結んだ象徴。
- ・学生が育てたホップを使った「相川ふるさとエール」も、地元の魅力を形にした商品として定着。
- ・学生からは、活動を通じて進路を考えるきっかけや、地域での役割を自覚するようになったとの声が多い。

● 詳しい情報（ホームページ、Instagram）

これからも全力で活動して参りますので、応援していただければ幸いです。

<https://todai-murajuku.com/>



★ 概要 ★

サークル開設：2015年
メンバー：約140名

活動分野：農業体験・交流、地域イベント、地域との協働
問い合わせ先：ut.murajuku@gmail.com

むら塾生と地域の方々の“手と手”から生まれた米「てとて」



むら塾生の努力と思いが詰まった奇跡のクラフトビール

